

セラミックの種類について

メタルボンド



メタルボンドの構造は金属のフレームの上にセラミックを焼き付けたものです。

金属で補強しているため非常に丈夫で奥歯やブリッジなど強度（耐久性）が求められる部分にはメタルボンドが用いられます。

ジルコニア



白いダイヤと呼ばれるジルコニアは、従来のセラミックの2～3倍の強度があります。噛み合わせの力が最もかかる奥歯には最適な材質です。

透過性の低い性質上、土台（支台歯）の変色や金属（コア）の色が透けるのを防ぎ明るく審美的に仕上げます。

プレスセラミック (ニケイ酸リチウム ガラスセラミック)



オールセラミックの中でも透明感があり、豊富な色調表現が可能です。金属を使用しないため歯ぐきの変色や金属アレルギーの心配はありません。天然歯に近い硬さなので対合歯にやさしく幅広い治療で用いられる材質です。

CAD/CAMハイブリットセラミック

CAD/CAMとは、コンピュータを使用して被せ物の設計と製作をするシステムのことです。ハイブリットとは樹脂（プラスチック）とセラミックを混ぜたものです。小白歯のみ陰適用になります。

各種フレームにおける色調・強度・接着性の指標

	色調	強度	接着
Metal	△	◎	△
Glass Ceramic	◎	○	◎
Zirconia	◎	◎	△

◎好適 ○適 △不適